

第42回

日本美容皮膚科学会  
総会・学術大会



日本美容皮膚科学会  
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

スポンサーセミナー 8

# 微細水粒子「AIR(アイル)」の肌適応の可能性

日時 2024年9月1日(日) 13:15-14:15

場所 名古屋国際会議場 第2会場 白鳥ホール南

座長

杉野 宏子先生

医療法人社団 青真会 青山エルクリニック

演題  
1

奥 謙太郎先生

医療法人社団 光悠会 HILLS GRACE CLINIC

演題  
2

今野 みどり先生

石井クリニック  
M&M スキンケアクリニック

## 微細水粒子「AIR」の特徴と 美容皮膚科領域への応用

## 微細水粒子「AIR」の 臨床使用例について

共催：第42回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / 株式会社アイシン

**AISIN**

## スポンサードセミナー 8

# 微細水粒子「AIR(アイル)」の肌適応の可能性

演題 1



演者

奥 謙太郎先生 医療法人社団 光悠会 HILLS GRACE CLINIC

## 微細水粒子「AIR」の特徴と美容皮膚科領域への応用

微細水粒子「AIR」(Aqua Innovative Rudiment : アイル)は、特殊技術によって形成された $\phi 1.4\text{nm}$ 程度の水分子の集合体である。AIRは通常の水蒸気と異なり、1)皮膚表面に $\text{OH}^-$ を発生させる、2)皮膚間隙から皮膚内へ進入し長時間留まるといった物理化学的特徴を持つ。この特性は、美容皮膚科診療において、薬剤導入法 (Drug Delivery System)・長時間持続性高保湿法 (Intensive Moisturizing System)として応用が可能である。当施設ではピコ秒アレキサンドライトレーザー、マイクロニードル RFなど施術後にダウンタイムとして紅斑・乾燥が発生する施術を行っているが、AIRはこのダウンタイムの減少・短縮に有効なのではないかと考えられた。このため微細水粒子「AIR」発生装置; WINDSCCELL (ウィンセル)を用いてエネルギーデバイス施術後のダウンタイムに対する影響を検証すべく臨床試験を実施した。その結果、WINDSCCELLは統計学的有意差をもって施術後の紅斑、違和感の減少に作用することが示された。またWINDSCCELL使用による副反応の発生は認められず、皮膚に対して刺激・負担のある施術後に使用する機器として有益であることが示唆された。本セッションでは、AIRについての特性を説明するとともに、WINDSCCELLを美容皮膚科診療に応用する方法について、当施設での臨床研究の結果を供覧しながら紹介する。

演題 2



演者

今野 みどり先生 石井クリニック / M&M スキンケアクリニック

## 微細水粒子「AIR」の臨床使用例について

微細水粒子「AIR」発生装置; WINDSCCELL (ウィンセル)は、空気中の水分を特殊なフィルターを通すことでナノサイズの微細水粒子に変換し放出するもので、その微細水粒子を浴びると皮膚角質層の水分量が上昇する事、皮膚に塗布した成分の導入効果があることがわかっている。

最大の特徴は非接触型の機械であることで、機械的な摩擦や電気刺激を加える事無く角質層の水分量が増え、導入効果が得られることで、アトピー性皮膚炎や尋常性ざ瘡、脂漏性皮膚炎など皮膚にトラブルがある方や肝斑の患者さんに有用であると考えます。

私は2019年からこの機械を用いて臨床試験を行い、現在M&M スキンケアクリニックと石井クリニックで診療に導入している。症例数は月100件を超えており、クリニックでも人気の施術となっている。これまでの臨床試験で得られた結果を踏まえ、この機械を患者さんに勧める時に気を付けている事、施術時に工夫している事、ほかの施術との併用について発表する。